第208号
昭和42年8月1日

昭和29年10月15日
第3種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

8月の納税

市民税・県民税 第2期分
納期限 8月31日
税金は納期内にぜひお納めください。

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市城内3番22号
編集兼発行人
藤岡照正
株式会社 文進堂印刷
全世帯配布

小田原市の推計人口
7月1日現在

人口		149,292人
	男	73,933人
	女	75,359人
世帯		35,232世帯
前月との比較	人口	278人増
	男	148人増
	女	130人増
	世帯	103世帯増

いよいよ台風シーズン

家のまわりをよく点検
―避難準備も早めに―

ことしも台風や異常降雨等の自然災害により、すでに西日本各地では豪雨に見舞われ堤防の決壊、山やがけくずれのため多くの尊い人命や家を失うという大きな被害が出ております。

本市では、あらゆる災害にそなえて総合的な防災計画をたてて万全の態勢をととのえておりますが特に昨年の台風4号の経験から市内のがけ危険個所百二十箇所の実態調査を実施いたしました。また酒匂川、狩川、山王川、早川などの急流河川をもつておりますので台風による水害にそなえて河川ぞいの水防倉庫に俵、丸太、工具などの応急資材を補充し、さらにさる七月八日酒匂川報徳橋わきにおいて市消防団並びに消防職員百二十名が参加し堤防の決壊を防止する四ツわく、水のあふれを防止する土のう積み工法の水防訓練を行なつて、災害発生に際し、すぐに活動できるよう準備を整えています。

しかし台風のコースは、常に気まぐれで進路を見きわめることは専門家ですらむずかしいと言われその猛威は予想し得ない被害をおよぼします。

【写真は水害にそなえ四ツわく工法の訓練】

そこで各家庭では、次のことに注意され、これらの被害をできるだけ少なくするようご協力ください。

①家のまわりを点検して、こわれかかつたへいや雨戸などの修理をしておきましょう。

また山腹やがけのそばにお住いのかたは、長雨で地盤がゆるみ、がけくずれも予想されますので、事前に排水や土俵、石垣などによる土止めの予防措置をしておきましょう。

②河川や海岸の近くにお住まいのかたは急激な増水、高潮なども考えられますので、テレビ、ラジオなど台風の状況を聞いて、早めに避難するよう心がけましょう。

市内各所の避難場所は別掲のとおり定めてあります。災害の発生が予想される場合には、避難合図として半鐘の乱打、サイレンの吹鳴（一分間鳴らし五秒休む）広報車による放送を行なうほか、係員が誘導しますので、指示に従つて行動してください。

③かんづめ、乾パンなどの非常食糧を準備しておきましょう。

④強い風のため電線がショートして近くの木や壁に燃え移り、大火となつた例もありますので、電線付近の木の枝は切りはらい、被覆のやぶれている電線は、前もつて東京電力などに修理してもらいましょう。

また停電に備えて懐中電灯トランジスターラジオ、ローソクなどを用意して、いつでもわかりやすいところに置きましょう。

避難予定場所

本町小学校、文武館、城内小学校、城内野球場、市体育館、新玉小学校、足柄小学校、白山中学校、芦子小学校、大窪小学校、城南中学校、早川小学校、山王小学校、白鴎中学校、久野小学校、富水小学校、泉中学校、町田小学校、下府中小学校、鴨宮中学校、中央公民館下府中分館、桜井小学校、尊徳記念館、国府津小学校、酒匂小学校、酒匂中学校、千代小学校、千代中学校、中央公民館豊川分館、同曽我分館、同下曽我分館、下曽我小学校、曽我小学校、片浦小学校、片浦中学校、城山中学校、城山陸上競技場、城山庭球場

交通安全指導隊が発足
歩行者の安全を確保
交通教室や街頭指導で

激増する交通事故に対処するため、市では本年五月一日から市民交通傷害保険を始めるとともに、これに並行して交通事故死亡者に弔慰金を贈るなど被害者の救済対策を推し進めております。

小田原警察署管内での交通事故発生状況をみてみますと、昨年の一月から六月までで六百四十八件死者二十三人、負傷者六百二十七人となつておりますが、本年の一月から六月まで、すでに七百二十七件、死者二十一人、負傷者八百七人と、前年にくらべ全体的にずつと増加しております。

そこで市では、これら交通事故から市民のみなさんを守るため、市民交通傷害保険などの被害者救済と並行して事故防止にも積極的に力を入れ、一貫した幅広い対策を進めようと、さる七月一日から小田原市交通安全指導隊を発足させました。

この指導隊は、市職員四十六名（うち女子四名）で編成され、隊長一名、副隊長二名、班長六名がおり、ハンドトーキ、携帯拡声器教材用交通信号機一式などの器材を備えております。

実際に活動するに先だち、小田原警察署から交通関係専門の警察官を招いて、基礎訓練、手信号の出し方、歩行者保護の注意など指導員としての訓練をみつちり受け警察官とほとんど同様の制服、制帽に身を包んで活動の第一歩を踏み出しました。

任務は、歩行者の安全通行のため、街頭に進出して必要な指導を行なうもので、特に学童の安全確保に主眼が置かれています。たとえば、警察官に協力して街頭指導を行なうとか、あるいは小・中学生を対象に安全通行の模擬訓練などを実施するほか、広報車で市内を巡回して、みなさんに交通安全に対する考えを深く持つていただくための活動を行なつています。

七月中の活動状況は次のとおりです。

七月一日城内小学校、十一日芦子小学校、十八日久野小学校、十九日足柄小学校でそれぞれ学校の要請により低学年児童を対象に交通教室を開設しました。これには十二名ほどの隊員が班編成によつて出動し、運動場に白線を引いて作つた道路で模擬信号機等の教材用具を使つて正しい歩行のしかた正しい横断のしかた、自転車の正しい乗りかたなどの訓練を行ないました。また、毎週月曜日の交通安全日と七月十二日から三十一日まで実施された「正しい歩行の励行運動」期間中には、各隊員が、午前七時半から一時間ほど市内主要交差点で、通学児童や一般歩行者の安全確保のため街頭指導を行ないました。

今後も、交通安全日、春秋の交通安全運動期間中、また公共の行事などにより特に混雑が予想されるとき、交通安全教室や交通法規講習会が開かれるときには、随時出動することになつています。

【写真上は勢ぞろいした隊員、下は芦子小学校での交通教室】

心身障害児の実態調査に ご協力ください

このたび県では、児童福祉行政を積極的にすすめるための一つとして、県内の心身障害児の福祉に必要な基礎資料を得ることになり八月一日を期して、実態調査を実施することになりました。

小田原市でも、小田原児童相談所と協力し、国勢調査地区より抽出された十三調査地区に居住されているお宅に、八月上旬ごろから調査員がおうかがいしていろいろおたずねいたします。

おたずねすることとは、種々の事情により心身に障害があるため、日常生活や、社会生活に不自由をしておられる、十八歳未満の子どもさんがどの様な生活をしているか、また障害の程度や状態はどうか等についてです。答えにくいこともあるかと思いますが、この調査は秘密が守られ統計以外の目的には絶対に使用できないことになつておりますので、調査にあたつたお宅では、ご心配なくお答えくださるようお願いいたします。

行政苦情相談
人権擁護相談
心配ごと相談

8月8日 午前9時～午後3時
毎月第2火曜日に3つの相談所が開設されます。
場所 市立青少年補導所

小田原 海上 花火大会

とき 8月15日 午後7時
≪雨天、強風の場合8月17日≫

ところ みゆきの浜

夏の催し ◎納涼民謡大会 8月11日 午後6時 城址公園野外劇場
協賛 日本民謡協会神奈川県支部
◎民踊の夕 8月12日 午後7時 天守閣広場
協賛 小田原レクリエーション協会・婦人団体

主催 小田原市・小田原商工会議所・小田原市商店街連盟

地域ぐるみで献血を
不慮の事故に備えよう

献血の問題は、いまや全国共通の問題として大きくクローズアップされておりますが、とくに本年の四月以降は、民間の血液銀行が自主的に売血を廃止しましたので、みなさんからの献血だけでまかなわれることになりました。

その後みなさんのご協力により血液の保存量も徐々に増加し、現在では、ほぼ需要量を満たすまでになっております。

しかし、最近は事故や手術が増加しておりますので血液需要量は増加する一方です。また、いつ多量の血液を必要とする事態が起こらないとも限りません。ですから保存血液は、いつも十分に確保しておかなければならないのです。

本市では、さらに献血事業を強力に推進するため、全国に先がけて、地域ぐるみの献血を行なうことになり、自治会の協力を得るため、さる六月八日に開かれた広報委員長会議（各地区自治会連合会長で組織）の席上、保健所及び市衛生課から献血についての説明を行なう一方、協力を依頼し、了承が得られましたので、今後は各自治会組織を通じて献血運動が推進されることになりました。

さっそく、六月十一日に荻窪の三十九区自治会で行なわれた採血の際には、日赤で用意した献血手帳が足りなくなるほど、たくさんの申し込み者があったほか、片浦地区では六月十七日から二十日までの四日間で五百五十世帯から五百九十七人もの献血者があり、地域ぐるみの献血としては、恐らく全国でもまれであろうと日赤の係員を感激させました。また六月二十五日に実施した十六区自治会では〝一世帯に一冊は献血手帳を〟という自治会長の呼びかけで百五十五世帯のうちから百四十三人が献血し、すでに献血済みの三十五人を含めて全世帯にそれぞれ一冊の献血手帳を持つなど不測の事態に対する準備の整った地区が続出して関係者を喜ばせています。

不慮の事故、病気に備えて「一世帯に一冊の献血手帳」を合いことばに、みなさんの善意による献血をお願いいたします。

なお、本年四月から六月までの小田原保健所地区の献血状況は別表のとおりです。

昭和42年度　月別献血実績表（4月～6月）

月　日	献血組織	献血者数
4. 6	小田原市・湯河原町	44名
4. 10	28区自治会	74〃
4. 13	保健所	61〃
4. 16	堀之内地区	45〃
4. 26	保健所	118〃
4. 29	久野各自治会	158〃
4. 30	〃	137〃
4月分計		637〃
5. 2	北ノ窪・府川	60〃
5. 6～8	上府中各自治会	324〃
5. 9	小田原警察署	65〃
5. 11	保健所	84〃
5. 12	箱根町	57〃
5. 14	富水西北地区自治会	112〃
5. 15	箱根温泉婦人会	94〃
5. 25	保健所	100〃
5. 28～29	豊川地区各自治会	297〃
5月分計		1,193〃
累計		1,830〃
6. 8	保健所	70〃
6. 11	荻窪自治会	180〃
6. 17～20	片浦地区各自治会	597〃
6. 22	保健所	83〃
6. 25	万年16区自治会	113〃
〃	田島各自治会	128〃
6. 26	箱根小涌園	91〃
6. 30	箱根町	114〃
6月分計		1,376〃
累計		3,206〃

鈴木市長が就任
全国市長会副会長に

このたび鈴木小田原市長は全国市長会副会長に就任いたしました。

これは、さる六月二十九日、三十日の両日、東京の日本都市センターで行なわれた全国市長会総会で各支部から推せんされ、万場一致で承認されたもので、同市長はこれまで同会関東支部長をはじめ同会役員等を歴任していましたが永年にわたる地方自治体に対する功績や、市の行政に対する手腕が大きく認められ、今回の副会長就任となったものです。

地方自治の確立が叫ばれている折柄、鈴木市長の今後の活躍が期待されています。

心配ごと相談

8月

8・15・22・29日

午前9時～午後3時

市立青少年補導所

久野霊園　使用希望者を募集
申し込み期間8月12日～19日

市が昭和三十九年から市内の久野八十地内に建設しておりました久野霊園は、すでに昨年から使用されていますが、市ではさらに造成を進めていた一部が、このほど完成の運びとなりましたので、次の要領で使用希望者を募集します。

◇公募する墳墓の種類と数

一般墳墓　四平方㍍　五十八区画、六平方㍍　百七十九区画

◇申し込み資格

小田原市に引き続き一年以上居住している人で墳墓の祭事を主宰すべき人

◇申し込み手続き

申し込み書（用紙は市役所都市計画課か各支所にあります）に必要事項を記入し、押印のうえ申し込み者の住民票の抄本を添えて都市計画課へ申し込んでください。

◇申し込み期間

八月十二日～十九日

◇選考の方法

申し込み者が公募墳墓数より多いときは、抽選で使用者を決定します。また墓所の位置も同じように抽選で決定します。

◇抽選の日時・場所

八月二十一日、午前十時、小田原市体育館

◇使用開始月日

九月一日

◇使用料・管理料

・使用料　四平方㍍一区画　二万七千円　六平方㍍一区画　四万六千円

管理料（一年）　四平方㍍　一千二百円　六平方㍍　一千八百円

◇注意事項

・墳墓は焼骨を埋蔵する以外のことには使用できません。

・墳墓を使用する権利を譲渡したり、転貸したりすることや使用場所を交換することはできません。

・墳墓には、許可を受けた日から三年以内に必要な施設（輪郭等）を作らなければなりません。

・墳墓の位置の変更はできません

・使用を許可された人は、使用料および墓所の清掃管理の経費としての管理料（年度中途の場合月割りで算出）を別にお渡しする納入通知書により九月一日までに納めてください。期限までに納付されないときは、使用許可を取り消すことがあります。

・お申し込みのときは、おたずねすることがありますので、本人または家族のかたがおいでください。

・お申し込みは、有資格者一人一通限りで、申し込み書の記載事項が事実と違うとき、その他不正の申し込みをされたときは、無効となります。

その他、ご不明の点は、都市計画課公園係（電話㉒一一一一番）にお問い合わせください。

二つの公民館が完成
浦町と山王の両地区

地区の人たちの社会教育活動、あるいはレクリエーション及び集会の場としていろいろと利用されている公民館が本市には六十八もあります。

これらに加えてこのほど二つの公民館が新たに完成しました。

その一つは七月二日に緑地区の浦町にできたもので、同地区の中心である大乗寺の入り口にあります。建設費は三百三十二万円（市補助金二十五万円）で、木造二階面積六十九・四二平方㍍と比較的小さなものですが、一階にホール台所、二階が和室になっており全体によくまとまっています。特にこの公民館には、ビデオコーダーといって会議や行事の模様をそのまま画面に再現できる非常に便利な装置が備えられていて公民館活動に大いに利用されることになりました。

他の一つは、七月九日山王地区に完成したもので、この公民館は住宅地から少しはずれた海岸寄りの広々とした国有地に建てられています。すぐ横を西湘海岸バイパスが通りさらにその先は海というたいへん見晴しのよいところです。総工費四百四十二万円（市補助金七十五万三千円）木造二階建て延べ面積約二百三十一平方㍍で、一階が調理室、ホール、予備室、二階が和室、ステージなどとなっており、かなり大きな建物です。

これで、市内の公民館は七十を数えたわけで、いずれも地区活動の推進に役立つものと大いに期待されます。

上は浦町公民館・下は山王公民館

信用保証料を補助
県事業資金の利用者へ

市では、市内の中小企業の経営合理化と振興をはかるため、神奈川県信用保証協会の信用保証料の一部を補助する制度を設けております。

神奈川県の融資制度のうち事業資金または小企業事業資金の貸し付けを受けられるかたは、この補助制度をぜひご利用ください。

補助の要点は次のとおりです。

①県事業資金または小企業事業資金の貸し付けを受ける場合、県信用保証協会に払い込んだ信用保証料の三分の二（ただし、最高限度額三万円）の金額が申請によって交付されます。したがって、保証料は実質的に三分の一の負担で済みます。

②補助を受けられるかたの範囲は資本の額または出資の総額が五千万円以下の中小企業者で、市内に一か年以上事業所等を有し現に営業しているかたです。

③補助を受けようとするかたは、保証料を払い込んだ日から三十日以内に申請書を市長あて提出することになっています。

なお申請する場合は取り扱い金融機関から保証協会に申し出て所定の手続きをしてください。

その他ご不明の点は、市役所商工課（電話㉒一一一一番）か市内の金融機関にお問い合わせください。

納期限は8月31日
農業共済掛金と事務費賦課金

市では、ことし作付けした水稲、陸稲について農業共済に加入しているかたに対して農業共済掛金と事務費賦課金の納入通知書を連絡員を通じて近くお届けしますので、納期限の八月三十一日までにお納めくださるようお願いいたします。

納入額は、十アール当たり水稲が、掛金、賦課金の両方で三百八円、陸稲が四百四十一円の割になっています。なお、本年はキログラム当たりの共済金額が、水陸稲とも五十円に引きあげられています。

市立泉中学校新築第二期工事
＝飯田岡二二一番地市立泉中学校＝

（工事概要）
校舎新築鉄筋コンクリート造三階建一部二階建塔屋付き
延面積一千八百三十・三八平方㍍
その他フェンス、裏門道路各新設工事
工事費四千八百二十五万円
昭和四十二年六月三十日着工
十二月二十二日完成の予定

◇六十九号線舗装新設工事
＝石橋地内＝

（工事概要）
舗装工事　延長五百㍍、幅員四～五㍍　面積二千二百五十五・三平方㍍
工事費五百六十万円
七月十四日着工、九月二十六日完成の予定

◇三十九号線舗装新設工事
＝府川地内＝

（工事概要）
舗装工事　延長百七十㍍、幅員五・七㍍　面積九百六十九平方㍍
工事費三百四十五万五千円
七月十日着工、八月二十八日完成の予定

火事と救急は　119番へ

場所と目標をはっきりと

小田原市消防本部

犬の放し飼いはやめましょう

水道の検針、集金、あるいは郵便配達員などの被害防止のため犬はかならずつないでおいてください。

〝水道メーターの上に物を置いたり、工作物を設けたりしないでください。〟

検針ができないときは、推定料金をいただくことになりますし、また、お宅の費用で検針や修理ができる場所に水道メーターを移設していただくことにもなりますので、ご注意ください。

小田原市水道部

広報おだわら　（毎月1回1日発行）（第3種郵便物認可）

かならず受けよう 結核の健康診断

医学の進歩で結核は、不治の病ではなくなりましたが、現在治療を要する結核患者、あるいは要注意者は全国で四百万人近くいます。百人のうち四人が患者または要注意者です。バス・電車に乗ればなかに一人や二人は結核にかかっている人がいることになります。

昔は結核患者といえば青年層に多かったものですが、いまでは高年齢者層や出産直後の女性にふえています。

結核の症状は、はっきりしないものが多く、ごく初期は、疲れるからだがだるい、食欲がない、やせるといったもので、これが進行すると微熱、寝汗、せきが出るようになり、さらに進むと血たん、かっ血が起こります。ここまできて気づきあわてる場合が多いようです。かっ血は結核ばかりでなく気管支拡張症や肺ガンなどによって起こる場合もあります。

結核は、伝染病ですが、いまでは九十五%までは治療することができます。

一番心配なのは主婦の場合で、感染しても知らずに家事や育児に追われ、自分の病状が悪化するばかりでなく、子どもにまで感染しあげくに母子で入院するというケースもめずらしくありません。

そこで、これら結核予防のため市衛生課では、次のとおり定期健康診断を実施いたしますので、この機会にぜひお受けください。

とくにことし購入したレントゲン車は、従来のものより四倍も大きく撮影できるため、結核、ろく膜炎はもちろん、心臓病、肺ガン気管支系統の病気も非常に発見しやすくなっています。

◇対象　七歳以上の全市民、ただし事業所、学校等で実施するものは除きます。

◇期日、場所　別表のとおり。

引き続き次号にも掲載します。

◇料金　無料

◇その他　(一)もめんの下着でボタン、ホックなどのないものは着たままで撮影できます。(二)化学繊維の下着（ナイロン、テトロンなど）、毛糸の下着やセーター、和服等は撮影に不適当ですから避けてください。(三)撮影の結果、不鮮明の場合あるいは異常の疑いのある場合は、直接撮影のお知らせをします。

日程表

月日	曜	実施会場	時間
8.16	水	穴部公民館	後1.30
8.17	木	富水小学校	～3.30
8.18	金	飯田岡公民館	後6.00～8.00
8.21	月	蓮正寺市営住宅集会所	
8.22	火	鬼柳公民館	後1.30
8.23	水	小田原市農協曾我支店上曾我出張所	～3.30
		螢田駅前	後6.00～8.00
8.24	木	下大井公民館	後1.30
8.25	金	曾我大沢公民館	～3.30
		小田原市農協曾我支店上曾我出張所	後6.00～8.00
8.28	月	久野小学校	後1.30
8.29	火	舟原作業所	～3.30
		久野公民館	後6.00～8.00
8.30	水	旧坂下公民館跡	
8.31	木	市立病院	
9.1	金	小田原市農協荻窪支店	後1.30
9.4	月	西大友公民館	～3.30
9.5	火	永塚観音堂	
9.6	水	上府中公民館	
		小田原市農協荻窪支店	後6.00～8.00
9.7	木	川口宅前(高田)	後1.30
9.8	金	小田原市農協上府中支店	～3.30

三か月児の検診

お宅の赤ちゃんは元気に育っていますか。

乳児期は将来の基礎をつくる大事な時です。ときどき健康相談を受けて発育状態に気をつけましょう。

今回、小田原保健所で三か月児検診を次のとおり計画しましたので、ぜひお出かけください。

会場は小田原保健所・酒匂支所・堀之内公民館の三か所となっておりますのでご希望のところで受診してください。

◇対象　前月末で満三か月を経過した乳児

小田原保健所
8月10日、9月14日、10月12日
11月9日、12月14日、1月11日
2月8日、3月14日
時間は、午前9時30分から午前10時30分までと午後1時30分から午後2時30分まで

酒匂支所
8月17日、9月21日、10月19日
11月16日、12月20日、1月18日
2月15日、3月21日
時間は、午後1時30分から午後2時30分まで

堀之内公民館
8月24日、9月28日、10月26日
11月30日、12月21日、1月25日
2月22日、3月28日
時間は、午後1時30分から午後2時30分まで

片山選手（女子ヤリ投げ）が日本新

秩父宮賜杯第七回実業団学生対抗陸上競技大会

ユニバーシアード選手壮行、秩父宮賜杯第七回実業団・学生対抗兼日米親善陸上競技大会は、秩父宮妃殿下をお迎えしてさる七月十六日市営城山陸上競技場で開催されました。

大会には、米国選手六名をまじえて実業団、学生軍とも男女七十九名ずつ計百五十八名の選手が参加して、午前十時十分のハンマー投げを皮切りに、男子二十種目、女子十種目にわたり、三十度を越す炎天下で熱戦がくりひろげられました。

その結果、女子ヤリ投げで片山美佐子選手（帝人松山）が昨年この大会で出した日本記録53メートル92を上回る54メートル34の日本新記録を出したのをはじめ、ハンマー投げで菅原選手（リッカー）が67メートル30、三段とびで新鋭の征木選手（東京教大）が16メートル34、男子走り幅とびで小倉選手（順天堂大）が7メートル74、男子砲丸投げで石田選手（東洋工業）が16メートル17を出すなど好記録をそれぞれマークしました。

期待された飯島、沢木の両選手は三十度を越す高温のため記録は低調でありました。

得点争いでは総合と男子は実業団の三年ぶり六回目、女子は学生が三年連続、三回目の優勝を飾りました。

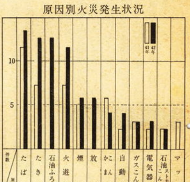
【写真は日本新をだした片山選手】

三千七百万円が灰に……

四十二年一月～六月の火災状況まとまる

市消防本部では、このほどことしの一月から六月までの本市の火災状況を次のとおりまとめました。

それによりますと、出火件数は九十一件（前年同期五十五件）、焼失面積二千五十八平方メートル（同三千五百六十三平方メートル）、損害額三千七百五十万円（同四千三百三十万円）となっており、ここ数年の平均に比べますと大きく増加しております。



これらの原因を調べてみますと①たばこ ②石油ふろがま ③たき火 ④火遊び ⑤煙突の順で、相変わらずたばこの不始末が火災原因のトップを占めています。

たばこに次いで特に最近は、石油ふろがまの手入れ不十分と調整不良による火災が激増しております。そこで石油ふろがまを使っているご家庭では、次のことに注意してください。

①一か月に一回以上は必ず手入れを ②燃料タンクはいつもいっぱいにしておく ③ビニールパイプやゲージは熱しないように ④ときどき燃え具合を調べる、特に風の強い日は立ち消えに注意。

その他、火災の大部分が不注意によって起こっていますので、火を扱っているときは、その場を離れず、また十分注意して火災予防に努めてください。

すばらしい上達ぶり

上府中で婦人バレーボール

市教育委員会主催のスポーツ教室婦人バレーボールコースは、さる五月二十七日から十日間にわたり上府中地区の婦人を対象に千代小学校校庭で開設されました。

この教室は、婦人の健康増進と明るい家庭づくりのために、昨年から設けられているものです。

参加者の大部分は三・四十代の年齢層で、小田原地区バレーボール協会員の熱心な指導により、基礎練習をかさねるにしたがって技術を身につけ、すばらしい上達ぶりで関係者を喜ばせました。

最終日の七月九日には富水地区の婦人チームを迎えての親善試合を行ない閉講いたしました。

なお、体育課では、十月に小田原市婦人バレーボール大会を計画しておりますので、この機会に多数のバレーボールクラブが各地区に結成されるよう望んでいます。

楽しそうに練習する婦人たち

百十二人に修了証

青少年水泳教室

市教育委員会主催のスポーツ教室青少年水泳コースはさる七月一日から十日間にわたり市営御幸の浜海水プールで開設されていましたが二十一日全日程を終了いたしました。

この教室は、泳げない青少年を対象に正しい水泳技術と知識を修得させてひとりでも多くの人が泳げるようになるため開設されたものです。

はじめは全然泳げなかった参加者も小田原水泳協会員の熱心な指導で、全員が泳げるようになり、なかには百メートルまで泳げる少年もでて、大きな成果を収め、少年たちや父母から大変喜ばれております。

なお、全日程に出席した百十二人に対し、修了証が贈られました。

泳力テストに参加しよう

白山中プールで実施

日本水泳連盟主催による第二回学童泳力テスト大会（小田原会場）は、小田原水泳協会主管のもとに、きたる八月十三日午前九時三十分から白山中学校プールで実施されます。

この泳力テストは団体や個人の競技ではなく、自分の泳力のテストを受け、タイムをはかるというものですから気軽に多数ご参加ください。

参加ご希望のかたは、所属学校または小田原市教育委員会体育課に八月九日までに申し込みください。

肢体障害者の巡回相談

八月十五日に

市福祉事務所では、神奈川県立身体障害者更生相談所の協力により、特に日を定めて身体に障害があるかたがたのために巡回相談を行なっております。

今回は肢（し）体に障害のあるかたにかぎり八月十五日、市教育委員会会議室で相談を受けますので、肢体に障害があり、身体障害者手帳の交付を受けてないかた、補装具の交付を希望されるかた、または補装具が破損してお困りのかたは、ぜひ相談においでください。

なお詳しいことは、市福祉事務所保護課厚生係（電話㉒～一一一一番～内線保護課）へお問い合わせください。

8月の"献血日"

10日（第2木曜日）
24日（第4木曜日）
午前10時～午後3時
場所　小田原保健所

お互いの命を守るためみなさんすすんで献血しましょう。

いつでもご利用を とくに春、秋が最適

～塔ノ峰青少年の家～

箱根外輪山にある塔ノ峰青少年の家には、七月から八月にかけて青年団体・学校・子ども会など、約二千五百人が利用を申し込んでいます。

大自然を背景に、きまった日課で自然観察、レクリエーションに青少年団体が楽しく、愉快に野外生活を過ごしています。

この楽しく、愉快な塔ノ峰青少年の家の生活を、ある小学生は「楽しかった夕食、みんなの顔も、とてもうれしそう。……キャンプファイヤー、班別で、いろいろな出し物をひろうしても楽しかった。……みんなも、きっとこのキャンプはすばらしい思い出となるだろう。」と感想文をつづっています。

なお、この施設は年間をとおして使用できます。春、花咲く高原で。秋、ススキの穂ゆれる涼しい季節の研修・野外活動はまた格別です。春、秋のご利用をお進めします。

お問い合わせは、小田原市教育委員会社会教育課（電話㉒八四二三番）です。

若さがいっぱいのキャンプ場

夏休みの生活指導

毎日を楽しく安全に

それにはこんな注意を

こどもたちの楽しみにしていた夏休みが七月二十一日からはじまりました。

規則正しい学校生活から解放されたこどもたちは、海や山への計画、そして夏の行事などで楽しく夏休みをすごしていることでしょう。

しかし、おとうさんやおかあさんにとっては長い四十日間の夏休みは、心配や悩みも多くなるときです。

夏休みのはじめのうちは、どこのこどもさんも自分の計画に従って毎日を割合規則正しく過ごしますが、日がたつにつれて生活が乱れ、学習もおろそかになりがちであります。また戸外での遊びも多くなりますので、思わぬ悪への誘惑にあったり、水難や交通事故なども多くなります。

そこで、このようなことにならないよう各学校では、夏休みを迎えるにあたって、家庭での生活、学習の指導、衛生の指導などについて、児童会や生徒会の意見も聞いてこまかい注意を与えるとともに、各家庭にも協力をお願いしてありますが、ここではご家庭でぜひ実行してほしいおもなものをまとめてみました。

計画的な生活を

夏休み中は、こどもたちの生活のほとんどが学校から家庭に移りますので、わがままに流れることのないよう規則正しくさせたいものです。

各学校では、休み中に各自で日課表を作ったり、日記をつけて反省したりして、学習やくらし方を自分の力に応じてするように指導しております。

すでに、各家庭では、休みのはじめにこどもたちと話し合って無理のない計画をたて、実行するように指導されたことと思います。

長い休み中には、平素学校でできない動植物の採集、自然の観察など楽しいいろいろな研究や、不得手な科目の勉強もできますので、こうしたものに力いっぱい取組むことができたら、それこそ本当に有意義な夏休みになると思います。

どうか夏休みの後半になって大あわてをしないように、日々の目標をしっかりきめて宿題や学習などは着実にするよう注意と、はげましを与えてください。

健康で安全な生活を

次に健康で安全な生活ができるよう注意してほしいことです。

ふだんからこどもの健康状態に注意し、また学校での健康診断の結果、治療を要するところがあればこの長い休みを利用してなおすようにつとめてください。

また夏は赤痢、小児マヒ、日本脳炎など恐ろしい伝染病の流行期でもあります。

手洗いの励行をはじめ飲食物への注意はもちろんのこと、特に暑さや過労のため病気にならないように休息と栄養を与えてください。

次に特に大事なことは、事故のない安全な生活をすることです。

毎年の例をみても交通事故や水難事故などが年とともにひん発する時期でありますので、学校やこども会などからの指示をよく守りひとりひとりが事故を起こさないように特に注意していただきたいものです。

なお、禁止されている河川での水泳とか自転車の二人のりなどをみかけたときには、愛の一言をかけるなどして事故のおきないようにご協力ください。

不良化の防止

夏はキャンプをはじめ、水泳、花火大会、盆おどり、夏まつりなど、こどもたちの外出する機会も多くなり、また行動も比較的自由でもありますので、こうしたなかで悪の刺激や誘惑を受けることも多いようです。

こどもさんが外出するときは、行き先きや帰宅時間などを必ず家の人に話してから出かけるようにしつけるとともに、特に友だち同志でするキャンプをはじめ、いろいろなつどいなどには、よく内容を聞き、責任ある指導者のいないときは参加させないでください。

また、いつもこどもさんの挙動や交友関係、所持品、金銭関係、外出先などにも注意し、今までと変わったところがあればすぐ聞きただすなどして、早いうちに悪の芽をつみとることも大切です。これらのことで、もしお困りのときは、学校の先生や、市の青少年補導所、警察の少年係等にご相談くださって、早いうちに防ぎたいものです。

中学校創立二十周年 記念式開かる

永年勤続教職員を表彰

小田原市立中学校の創立二十周年記念式が、小田原市、小田原市教育委員会、小田原市中学校長会の共催で、さる七月四日午後一時から城山中学校で開催されました。

わが国教育史上画期的な教育改革により昭和二十二年五月、終戦直後の混迷の中に誕生した中学校が、幾多の辛酸をなめながら、ここに満二十歳の成人式を迎えたわけです。

式典は鈴木市長はじめ関係者約三百人が出席し、盛大かつ厳粛に行なわれましたが、あのすべてが無に等しかった敗戦直後の悪条件を克服して新制中学校創設の大事業を成し遂げられた当事の理事者議会、地元民、PTA等関係各位の熱情と努力、更には、その後今日までの二十年、施設設備の拡充教育内容の充実発展に示された各方面の熱意と教職員各位の努力に改めて感謝と敬意を表する空気が会場に満ちていました。

式典後、参議院議員内藤誉三郎氏の「日本教育の進路」と題する記念講演があり、文部省にあって新制中学校の育ての親とも言える氏の話には現在の教育界の持つ幾多の問題に対して参考になるものが多々含まれていました。

発足当時、一中から四中までの四校であった市立中学校もその後の町村合併により九校となり、さらに、本年四月泉中学校が新設され、十校になりました。この間の卒業生は四万四千五百名に達しています。

なお記念式典では、本市中学校永年勤続者の表彰が行なわれましたが、表彰されたかたがたは次のとおりです。（敬称略）

◇二十年勤続教職員
久保寺信雄、杉山あい子、木村芳雄、飯塚秋雄（以上城山中）内田孝（白鴎中）佐藤松雄、熊坂太裕、山田三郎（以上白山中）松島俊治（城南中）、水島寿一（鴨宮中）、鵜塚逸男、門松操（千代中）、石塚靖二、井上茂平（酒匂中）、芦川駿、小沢富士男（国府津中）、小金仁、川面義人（片浦中）

◇二十年勤続学校医
東海俊夫（城山中）

◇二十年勤続学校歯科医
新村三郎（国府津中）

◇二十年勤続用務員
栢沼イチ（酒匂中）

◇十年以上勤続校長
石川勝蔵（前、城山中）
両毛政時（前、白山中）
森川清次郎（前、鴨宮中）
浦辺勘次郎（前、国府津中）
内海又一（現、白山中）
田広義一（現、酒匂中）
中戸川嘉賢（現、片浦中）

暴力、緊急事件は一一〇番へ
小田原警察署

小中学校用務員を募集

市教育委員会では、ただいま市内の小中学校へ用務員として勤務してくださるかたを次のとおり求めています。ご希望のかたは、市教育委員会総務課（電話㉒一一一一番～内線）へおいでください。

◇資格　五十五歳までの男子

◇申し込み期限　八月三十一日まで。なお、申し込みの際には履歴書をお持ちください。その他給与、勤務条件等については、面接のときご相談いたします。

今月の行事

自動車文庫

12日（土）　国際通り青年部、東亜農薬、大稲荷神社、長野製作所
13日（日）　網一色婦人会、久野商店街寮、蛍田蛍生会、万年公民館
15日（火）　健康学園、谷津市営住宅、柳屋ポマード、小田原紙器、久所市営住宅
16日（水）　つばめ子供会
17日（木）　印刷局宿舎、計量検定所、潮公民館、入生田駅前、国立箱根療養所
19日（土）　千代小学校、小田原電報電話局 国府津分局、東洋水産、多古公民館、小田原ガス
20日（日）　寺町公民館
22日（火）　あしがり荘、小田原拘置所、大同毛織、鐘紡ハリス
23日（水）　荻窪農協、小田原少年院、報徳網、板橋公民館、下板橋
24日（木）　中島33区公民館、桑原公民館
25日（金）　小西六写真、浅原子供会、小田原電報電話局、神尾食品、湯浅電池
27日（日）　下府中公民館図書室
29日（火）　新宿公民館、酒匂分館、国府津分館、下曽我分館、曽我分館
30日（水）　上府中分館、下府中分館、豊川分館、桜井分館、片浦分館

市民会館

＜大ホール＞

▽1日　わらび座公演（18時30分～21時30分）三百五十円　△2日　労音例会〝寺内タケシとバニーズ〟（18時15分～20時30分）会員券　△3日　国際通り奉仕会〝さみどりショー〟（一部11時～13時30分・二部14時30分～17時・三部18時～20時30分）招待券　△5日　観光と美化のつどい（13時30分～16時30分）　△6日　日比野雅江舞踊研究所、研究生舞踊発表会　△7日　第14回青少年オーケストラ演奏会（15時～17時）招待券　△8日～19日　ホール改修工事につき休館　△20日　和田寿子舞踊研究所、研究生舞踊発表会（13時～17時）　△23日～24日　労音例会〝パッキー白片とアロハ・ハワイアンズ〟（18時15分～20時30分）会員券　△26日　専売公社小田原工場職員家族慰安演芸会（13時～16時）　△28日　民音例会〝ハワイアンの夕べ〟（18時30分～20時30分）会員券　△29日　国際ロータリー第三百五十九区地区リーダーシップフォーラム（10時～16時）　△30日　珠算のつどい（13時30分～16時30分）

＜小ホール＞

△2日　小田原市農協柑橘講演会（13時30分～17時）　△3日　児童文化部活動研究発表会（9時40分～16時）　△6日　ピアノおさらい会（13時～16時30分）　△8日～19日　冷凍機調整のため休館　△20日　ピアノおさらい会（12時30分～19時）　△22日　小西六労組定期大会（9時15分～16時30分）　△23日　学校経営研修会（9時～16時）　△25日　旭化成編物講習会（10時～16時30分）　△26日　ピアノ発表会（14時～16時30分）　△29日　国際ロータリー第三百五十九区地区リーダーシップフォーラム（16時～17時）　△30日　三共楽器音楽教室〝ピアノ発表会〟（10時～16時30分）

＜展示室＞

△4日～6日　㈱マルヤ京呉服展示即売会（9時～17時）　△8日～15日　冷凍機調整のため休館　△16日～20日　瀬戸房家具展示即売会（9時～19時）　△28日～30日　神奈川県生活協同組合京呉服展示会（9時～18時）

郷土文化館

動植物標本に名をつける会

市立郷土文化館では、八日十九日（土）、二十日（日）の二日間いずれも午前九時から午後四時まで、同館で「動植物標本に名をつける会」を開きます。

この催しは、市内及び近郷の児童生徒の皆さんが、夏休みの宿題で作成した動植物標本のなかに名前がわからないものがあって困っているかたが多いことから、夏休みの後半を選んで毎年行なわれているもので、こどもたちをはじめ生物に関心のある一般市民からも大へん好評をいただいております。

十九日と二十日には、小田原生物談話会の会員が、動物では昆虫類、ちょう類、ガ類、貝類、かに類、植物では、一般植物、しだ植物、海藻類についてそれぞれ指導します。特に二日目の二十日には国立科学博物館植物課の奥山春季先生を特別講師としてお願いしてありますので、ぜひお出かけください。

なお、指導は二日間とも同館入口でお渡しする整理券の番号順にしたがって行なわれますが、この会ご利用のかたは、名前をつけてもらう標本と筆記用具をご持参ください。問い合わせは郷土文化館（電話㉒一一三五番）へお願いします。

どんな小さな善意でも

善意銀行登録者
登録番号１６号

⑴氏　　名　千葉キヨ子
⑵職　　業　学生
⑶提供内容　栄養士の補助的作業
⑷希望地域　市内一円の社会福祉施設
⑸継続性　春・夏休み各１回

なお、善意銀行登録10号の普明会小田原支部（代表者横沢昇一）から７月10日に、第２回分として２万円が寄託されましたので、市内福祉施設へ配分いたすことにいたしました。善意を提供したいかた、提供された善意を受けたいかたは、福祉事務所（電話㉒1111番～内線福祉課３番）へお申し込みください。

作品を募集

小・中学生のみなさんへ　読書ノートと俳句

児童文化館では、夏休み中の小学校児童・中学校生徒を対象として「読書ノート・コンクール作品」と「児童・生徒俳句」を募集しております。募集要項は次のとおりですが、作品はいずれも夏休み終了後に一括して学校から児童文化館に送られることになっていますので、それぞれの学校へお出しください。

◎読書ノートコンクール作品募集要項

①共催　小田原市学校図書館協議会・日本書籍出版協会児童書部会
②応募資格　市内の小中学校児童生徒
③作品の内容　いままでに読んだ本や、あたらしく読む本の感想をまとめたもの
④用紙　四百字詰め原稿用紙
⑤枚数　小学生は三枚以内　中学生は五枚以内
⑥作品の型式　次のことを別の原稿用紙に書いて、一番上に添付してください。
・題名　・書名、著者名　発行所名　・学校名、学年、組　・住所、氏名、性別
⑦応募点数　一人一点とします。
⑧表彰　中学校、小学校とも学年別に優秀賞、優良賞を選定し表彰します。

◎児童生徒俳句募集要項

①応募資格　市内の小、中学校児童生徒
②型式　定型でも自由型でもよい
③応募点数　一人五句以内
④用紙　用紙は自由、五句以内を記してください。学校名学年、氏名もかならず書いてください。
⑤発表　入選句は「読書ノート・コンクール作品集」に掲載します。

あなたも出品を……

創意工夫展・科学展　申し込みは9月20日まで

市と教育委員会、教育研究会の共催で、毎年行なわれている「青少年創意工夫展」と「科学展」がことしも九月二十三日から二十五日までの三日間、市体育館で開かれます。この二つの展覧会は市内の小、中学校に在学する児童生徒が夏休みなどを利用して作った作品を一堂に集めて展示し、広く児童、生徒の科学心と創意工夫意欲を高めるために催されるものです。このうち創意工夫展は、高等学校生徒及び勤労青少年の作品も加えて、ことしの十月十九日から二十四日まで川崎さいか屋デパートで開催される神奈川県創意工夫展に出品する作品の予選も兼ねております。出品作品には、毎年自然の観察記録や動植物の採集標本のほか、日常生活からヒントを得て科学的にくふうされた優秀作品が多く、一般参観者からも大変好評をうけており、創意工夫展の作品は県の展覧会、国の展覧会にも多数が出品され優秀な成績をあげております。ことしもぜひりっぱな作品が多数出品されるよう係では望んでおります。

なお、出品の申し込みは、九月二十日までに各小、中学校または市役所商工課で受けつけます。

青少年相談

青少年問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

平　日　午前8時30分～午後5時
土曜日　午前8時30分～正午
日曜日、祝日は休みです。

市立青少年補導所
電話㉒1136番㉒1111番～内線